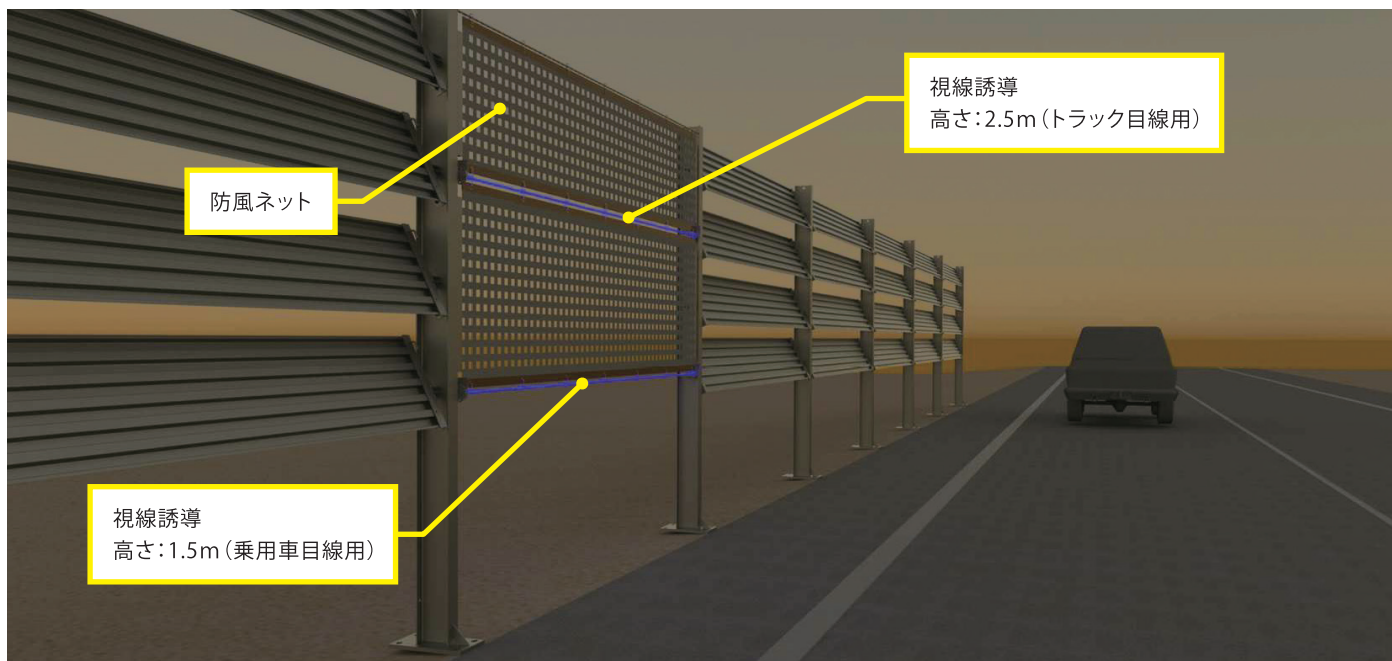


取付道路における吹雪対策製品

開口部に2本の視線誘導標と樹脂ネットを設置することで、吹雪障害を緩和しつつ視線誘導効果も発揮します。

【視線誘導+防風】



【特長】

- 取付道路両脇の既存の柱を活用して、樹脂ネットを設置できます。
- 減風効果により視程障害を緩和します。
- 取付道路の幅は現場により異なるため、寸法長の自由度が高い樹脂ネットを採用しています。
- 樹脂ネットは空隙率が大きいので、既存の柱及び基礎に与える荷重が小さく、既設構造物の活用に適しています。

【今までの課題を解決】



防雪柵が設置される箇所の特徴として、風上側が耕作地帯（田畑）として利用されていることが多くあります。耕作地帯には風雪の抵抗となる障害物が少なく、吹雪が発生しやすい環境であることが要因ですが、同時に、耕作地帯であるが故に、道路から田畑へ侵入するための取付道路が必要となります。この取付道路には、運用上、防雪柵の柱や基礎を設けることが困難であるため、やむを得ず間隙のまま利用されています。しかし、柵と柵の間には特に風雪が誘導・集約されやすいため、取付道路部では局地的な視程障害や吹き溜まり障害が発生し、交通障害の原因となっています。この課題を本製品で解決します。

SA/2018.11-45